

令和6度 第2回苫小牧市スポーツ推進審議会結果報告書

- 【日時】 令和6年11月14日（木）18時00分～19時00分
- 【場所】 市役所5階 第2応接室
- 【出席】 ▽苫小牧市スポーツ推進審議会委員 10名（12名中）
本間会長、中村副会長、秋保委員、石田委員、鈴木委員、中田委員、中村（誠）委員、
藤岡委員、米山委員、林崎委員、
▼事務局（市）
・総合政策部：町田部長、神保まちづくり推進室長
・スポーツ都市推進課：畠山課長、榎田課長補佐、奥井主査、田中主査、丸谷主事、
石山主事、石川主事、寺谷主事、大上主事

～～～議事要旨～～～

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 新任委員紹介
- 4 議事（進行：本間会長）
以下の質疑・意見について、▽は委員発言、▼は事務局発言

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 苫小牧市スポーツ推進計画施策事業について | 【資料1-1】 |
| ・No2 ウォーキング事業の開催 | 【資料1-2】 |
| ・No5 スポーツ習慣化促進事業 | 【資料1-3】 |
| ・No31 女性アスリートの健康に関する性教育講座 | 【資料1-4】 |
| ・No32 アスリートに対する応援事業 | 【資料1-5】 |
| ・No33 スポーツマスター事業 | 【資料1-6】 |
| ※ 事務局から説明 | |

【質疑】

(スポーツ習慣化促進事業について)

▽秋保委員

運動習慣の定着化に関しては、取っ掛かりや施設環境が大事。この事業は、運動教室等に参加したことがない方が43%もいるということで、このような方々を掘り起こすことができればと思う。非常に興味深い取り組みだと思う一方で、参加することで何が得られるか、得た後にどう変化していくのか、継続率というのも大事になる。スポーツクラブを運営している立場であるが、このような事業の告知協力は、会社としても可能である。

(女性アスリートの健康に関する性教育講座について)

▽米山委員

今回、この事業に参加をさせていただいたが、内容についてもう少しスポーツと生理を絡めた話をしてほしい。対策の一つとして漢方の使用をすすめる話があったが、選手目線ではドーピングが気になる。アスリートには切り離せない部分になるため、アスリート用に内容を整理した講座であるとより良い。また、今回は中学生から大学生の幅広い年齢層が参加したため、内容によっては理解が難しい部分があった。参加者の年齢層が決まった時点で講師に伝え、

内容を分けるなどしてもらえたら。

(スポーツ合宿等助成について)

▽鈴木委員

一般スポーツ団体の助成上限額は10万円とあるが、1団体につき満額助成が多いのか。

▼畠山課長

高校生等、学生スポーツは週末に来て一泊して練習試合をするパターンが多い。実業団や大学生は長期滞在がある。野球で25名の合宿などはあるが全団体が満額補助というわけではない。

▽鈴木委員

中央競技団体とはどういうことか。実業団や企業チームの申請もあるのか。

▼畠山課長

中央競技団は日本代表チームである。実業団や企業チームも例年、申請がある。

▼町田部長

実業団や企業チームの場合、飲食関係で市内にお金を落としていただける部分もあり、経済効果が見込まれる。

▼畠山課長

MICE誘致推進協議会が主体となって、令和6年2月にセールスプロモーションを行った。

また、ダイレクトメールやホームページへの掲載により、本制度を全国の団体、大学等に周知を行っている。

▼町田部長

昨今、日本の平均気温が上昇しており、涼しい本市での合宿需要が高まっている。一方で、夏に集中するため、市内の宿泊ホテルが足りないという課題があるが、工夫して進めていきたい。

(ウォーキング事業について)

▽中村副会長

苫小牧信用金庫にもウォーキングスタンプラリーの台紙を設置したのは良かったと思うが、スタンプを貯めた後、とまチョップポイントを付与してもらうために市役所まで来ないといけないのはどうにかならないか。勇払地区は距離が遠く、高齢者も多いため勇払パブリックセンターで付与してもらえるよう手配できないか。

▼畠山課長

とまチョップポイント端末に限りがあり、全施設で対応することは難しい。また、とまチョップポイントアプリでは歩数に応じてポイントが貯まる仕組みもある。

▼町田部長

例えば、日にちを決めて沼ノ端コミュニティセンターでポイントを付与するなどの工夫も考える。

▼榊田課長補佐

今回は、市役所に来なくてもポイントを付与できるよう、ウォーキングフェスティバルにおいて、ウォーキングスタンプラリー分のとまチョップポイントを付与できるよう対応した。

(2) 第25回オリンピック冬季競技大会 女子アイスホッケー最終予選について 【資料2】

※ 事務局から説明

【質疑】

▽藤岡委員

先月、日本アイスホッケー連盟から、役員及び運営事業者の決定についての連絡があり、実行委員会が立ち上がった。平昌オリンピック開催時と比較し、進捗状況は遅れているため、早めに取り組むよう伝えている。

▽米山委員

前回の開催時は普段にないほどの盛り上がりだった。今回は、スケートまつりが同時開催となるため、より盛り上がると思うが、安全に開催されることが一番。

▽本間会長

導線確保や駐車場の確保等、観光振興課と連携しながら進めてもらいたい。

(3) 次期苫小牧市スポーツ推進計画の策定について

【資料3-1】

① 審議会委員から提出された意見について

② アンケート調査について

・市民の運動・スポーツ活動実態調査

【資料3-2】

・障がいのある方の運動・スポーツ活動実態調査

【資料3-3】

・苫小牧市での合宿に関する調査

【資料3-4・5】

・スポーツ指導者の実態調査

【資料3-6】

・スポーツ施策に関する調査

【資料3-7】

※ 事務局から説明

【質疑】

▽石田委員

他都市で展開しているスポーツツーリズムは、町をあげてスポーツ団体を招き入れ、町の活性化に繋がっているというのをよく見聞きする。本市も様々な競技のスポーツ団体や合宿を誘致して、市民がスポーツを知って経済活性化に繋がれば良い。また、来年の1月に札幌でスポーツツーリズムの第一人者の方の講演があるので、アドバイスをもらおうと良いと思う。

(4) スポーツ都市宣言60周年に向けて

【資料4】

※ 事務局から説明

【質疑なし】

(5) 総合体育館整備調査事業について

【資料5】

※ 事務局から説明

【質疑】

▽本間会長

建替えの計画がなくなったわけではないという認識で良いか。

▼畠山課長

今、建替えたらどうなるかということと、体育館のどこを改修したら良いかという調査を現在実施している。併せて、財政シミュレーションを実施し、いつ建替えできるのかを、財政部局と協議し、改修について判断する。

▼町田部長

以前、建替えを検討した時の建築費は70億円の予算だったが、現在は材料費や人件費の高騰により、100億円を超えると言われている。駅前再整備計画も動き出そうとしており、建替えは難しいのが現状。建替えを延期するとなれば、延命化措置を行い、どのくらい使用できるのかという調査も実施している。今年度末に結論を出したい。市民ホールの建築費も今年度で11億円が上乗せになっている状況。今決めても建替えるのは数年後になるため判断が難しい。

5 その他

【質疑なし】

6 閉会